

伊勢湾岸自動車道以南の木曾岬干拓地の土地活用に係る規制・課題の整理

規制等		利用の方向性			
		商業利用	工業利用	住宅利用	
法的規制	都市計画	①市街化調整区域に指定されており、周囲の市街化を促進するような開発はできない。(例；ショッピングセンター) なお、市街化調整区域を市街化区域に編入するには国の同意が必要となる。	①市街化調整区域に指定されており、工業利用を定めた地区計画の策定が必要。(例；工場、物流拠点)	①市街化調整区域に指定されており、桑名都市計画区域では現状の市街化区域内で人口を収容しきれぬため、住宅利用はできない。 なお、市街化調整区域を市街化区域に編入するには国の同意が必要となる。	
インフラ等の課題	インフラ	電力	①新たな電力容量の確保と送電線の建設が必要。元々、排水機場への電力供給のみであったため、新輪工業団地の電力供給も新たに建設している状況である。必要な電力量によっては変電所の増設等が必要。 ②大規模施設の場合、特別高圧の供給が必要となる可能性があり、鉄塔建設費等の費用負担が発生。	①新たな電力容量の確保と送電線の建設が必要。元々、排水機場への電力供給のみであったため、新輪工業団地の電力供給も新たに建設している状況である。必要な電力量によっては変電所の増設等が必要。 ②大規模工場の場合、特別高圧の供給が必要となる可能性があり、鉄塔建設費等の費用負担が発生。	①新たな電力容量の確保と送電線の建設が必要。元々、排水機場への電力供給のみであったため、新輪工業団地の電力供給も新たに建設している状況である。必要な電力量によっては変電所の増設等が必要。
		ガス	①LPガスのみ。 ②都市ガスについては国道23号沿いの既設管からのガス管整備が必要となり、費用負担が発生。	①LPガスのみ。 ②都市ガスについては国道23号沿いの既設管からのガス管整備が必要となり、費用負担が発生。	①LPガスのみ。 ②都市ガスについては国道23号沿いの既設管からのガス管整備が必要となり、費用負担が発生。
		水道	①木曾岬町は水道の自己水源を有しておらず、町内の水需要の全量を、県企業庁の北中勢水道用水供給事業からの受水に依存している。 ②北中勢水道用水供給事業における木曾岬町と企業庁の一日あたりの契約水量は、4,800m <sup>3</sup> /日であり、木曾岬町における令和元年度の日あたりの最大給水量は4,148m <sup>3</sup> である。今後、木曾岬新輪工業団地への企業立地が進み水需要が増加すると、伊勢湾岸自動車道以南への給水量が不足する可能性がある。 ③上記の契約水量を増量するには、他市町(四日市市ほか3市3町)の契約水量を木曾岬町へ融通してもらう必要がある。	①県企業庁の北伊勢工業用水道事業は、給水余力はあるものの、干拓地周辺に工業用水道管路が整備されておらず、干拓地へ供給するには長距離の管路整備を行う必要があり、その費用は受水者が負うことになる。 ②(工業用水を①によらず、水道で対応する場合)北中勢水道用水供給事業における木曾岬町と企業庁の一日あたりの契約水量は、4,800m <sup>3</sup> /日であり、木曾岬町における令和元年度の日あたりの最大給水量は4,148m <sup>3</sup> である。今後、木曾岬新輪工業団地への企業立地が進み水需要が増加すると、伊勢湾岸自動車道以南への給水量が不足する可能性がある。 ③上記の契約水量を増量するには、他市町(四日市市ほか3市3町)の契約水量を木曾岬町へ融通してもらう必要がある。	①木曾岬町は水道の自己水源を有しておらず、町内の水需要の全量を、県企業庁の北中勢水道用水供給事業からの受水に依存している。 ②北中勢水道用水供給事業における木曾岬町と企業庁の一日あたりの契約水量は、4,800m <sup>3</sup> /日であり、木曾岬町における令和元年度の日あたりの最大給水量は4,148m <sup>3</sup> である。今後、木曾岬新輪工業団地への企業立地が進み水需要が増加すると、伊勢湾岸自動車道以南への給水量が不足する可能性がある。 ③上記の契約水量を増量するには、他市町(四日市市ほか3市3町)の契約水量を木曾岬町へ融通してもらう必要がある。
		下水道	①処理方法は合併浄化槽のみ。 ②北勢沿岸流域下水道(北部処理区)に含まれていない。	①処理方法は合併浄化槽のみ。 ②北勢沿岸流域下水道(北部処理区)に含まれていない。	①処理方法は合併浄化槽のみ。 ②北勢沿岸流域下水道(北部処理区)に含まれていない。
		道路	①県道木曾岬弥富停車場線のみ。 ②利便性だけではなく防災上の観点からも愛知県側へアクセスする道路が必要。	①県道木曾岬弥富停車場線のみ。 ②利便性だけではなく防災上の観点からも愛知県側へアクセスする道路が必要。	①県道木曾岬弥富停車場線のみ。 ②利便性だけではなく防災上の観点からも愛知県側へアクセスする道路が必要。
		交通	①鉄道等公共交通機関がない。	①鉄道等公共交通機関がない。	①鉄道等公共交通機関がない。
		堤防	①計画堤防高に足りておらず、高潮時に越波する可能性がある。 ②耐震対策が未実施で、大規模地震時に沈下等の恐れがある。	①計画堤防高に足りておらず、高潮時に越波する可能性がある。 ②耐震対策が未実施で、大規模地震時に沈下等の恐れがある。	①計画堤防高に足りておらず、高潮時に越波する可能性がある。 ②耐震対策が未実施で、大規模地震時に沈下等の恐れがある。
	地盤	①液状化の危険度が極めて高い。 ②支持地盤までの深さが約55m。	①液状化の危険度が極めて高い。 ②支持地盤までの深さが約55m。	①液状化の危険度が極めて高い。 ②支持地盤までの深さが約55m。	
	環境	①チュウヒ等の希少な動植物への配慮が必要。	①チュウヒ等の希少な動植物への配慮が必要。	①チュウヒ等の希少な動植物への配慮が必要。	